

青森×東京藝術大学 《あおもり JOMON GYOMO プロジェクト展》 開催のご案内

あおもり JOMON GYOMO プロジェクト実行委員会では、東京藝術大学とともに、令和4年11月26日（土）から12月11日（日）までの16日間にわたり、青森県立美術館において「あおもり JOMON GYOMO プロジェクト展」を開催します。



本プロジェクトでは、「一人ひとりがつくった網を連結して巨大な漁網をつくり、地引網をして魚を獲る。」ことをめざして、趣旨に賛同する参加者を県内外から募り、人、地域、時間をつないできました。

また、令和4年9月10日（土）に平内町茂浦のもうらだいすき海岸において、制作した大型漁網を使った地引き網漁体験活動を実施しました。

本展では、プロジェクトの集大成である巨大漁網作品の展示を中心に、この取組の全貌を展示することによって、「人と人が認め合い、つながり、力を合わせること」の重要性を再認識する場となることをめざします。

展示を通して、生活文化、美術、歴史、教育、地域、林業、漁業、作品等々が様々な角度から繋がっている様子を感じていただけると幸いです。

また、会期中には、シンポジウムやワークショップを開催します。

本件に関する
問い合わせ先

あおもり JOMON GYOMO プロジェクト実行委員会事務局
(青森県環境生活部県民生活文化課内)
〒030-8570 青森市長島1-1-1
Tel: 017-734-9207 Email: seikatsu@pref.aomori.lg.jp

青森×東京藝術大学
あおもり JOMON GYOMO プロジェクト展

■展示紹介

「あおもり JOMON GYOMO プロジェクト」では、縄文文化から着想し、美術の視点で想像力を育む文化芸術体験・学習プログラムを展開しています。

私たちの生活様式や文化は、長い年月の中で幾度も磨きをかけ、意識することが無くなる程に生活に根差してきました。あまりに身近な存在である習慣や仕草に、新しい価値を見いだすことは容易な事ではありませんが、身近な営みの中にこそ、時間を超える豊かさを含んだ種が潜んでいるのではないかと考えました。

そうした過去の種の萌芽から、未来を「つなぐ」架け橋こそが本プロジェクトです。つなぐ対象は幅広く、生活文化、美術、歴史、教育、地域、林業、漁業、作品、等々を様々な角度から「つなぐ」活動を実践しています。そして、青森から発信されたアートというメディアムは、全国の人々を繋ぎました。

多くの人の手（3,546人：2022/8/26時点）で制作した大型漁網作品を中心に、この取組の全貌を展示します。現代社会や地球環境を取り巻く諸問題に対する課題解決の糸口を縄文文化の中から感じ取り、青森という風土に根差した芸術文化の豊かさに理解を深め、郷土を愛する心の醸成につながれば幸いです。



本プロジェクト参加者による協働制作漁網作品のインスタレーション



本プロジェクトの経緯や記録
(これまでの取組や課題解決の過程等を展示)



丸太（端材再利用）と木製漁網編み治具
約千個による竪穴式住居をイメージした
インスタレーション

開催概要

タイトル	あおもり JOMON GYOMO プロジェクト展
会 期	令和4年11月26日(土)～12月11日(日) ※休館日：11月28日(月)
開館時間	9:30～17:00 (最終入館 16:30 まで)
会 場	青森県立美術館 (青森市安田字近野185) コミュニティギャラリーA、B、C
入 場 料	無 料
主 催	あおもり JOMON GYOMO プロジェクト実行委員会 構成機関・団体 〔平内町漁業協同組合、(一財)日本森林林業振興会青森支部、(地独)青森県産業技術センター林業研究所、(一社)三内丸山応援隊、青森県教育委員会、青森県〕 国立大学法人東京藝術大学美術学部 美術教育研究室 工芸科染織研究室
後 援	NHK青森放送局、青森放送(株)、株式会社青森テレビ、青森朝日放送株式会社、東奥日報社、株式会社陸奥新報社、株式会社デーリー東北新聞社、株式会社エフエム青森、FMアップルウェーブ、株式会社ビーエフエム、青森ケーブルテレビ株式会社、株式会社八戸テレビ放送、朝日新聞青森総局、株式会社産業経済新聞社青森支局、河北新報社、毎日新聞青森支局、読売新聞青森支局、一般社団法人共同通信社青森支局、(株)時事通信社青森支局、(株)フジテレビジョン報道局青森支局、青森アートミュージアム5館連携協議会
協 賛	ファーストプライウッド株式会社
協 力	青森公立大学国際芸術センター青森、青森県立郷土館
運 営	あおもり JOMON GYOMO プロジェクト実行委員会 (青森県環境生活部県民生活文化課内) 〒030-8570 青森市長島1-1-1 TEL: 017-734-9207 Email: seikatsu@pref.aomori.lg.jp ■ホームページ ■Instagram ■Facebook ■YouTube
	   

イベント

「あおり JOMON GYOMO プロジェクトシンポジウム」

テーマ：縄文漁網プロジェクトを通して

「あおり JOMONGYOMO プロジェクト」がこれまで実施してきた、生活文化・歴史・教育・林業・漁業といった分野をアートで「つなぐ」取組について、関係者とのトークセッションを通し、多分野が連携して地域文化を支えていくことの意義と、これからの広がりについて考えます。



開催日時： 11月27日（日） 13:30～15:30

会場： 青森県立美術館 シアター

登壇者： 東京藝術大学 美術教育研究室 准教授
（一財）日本森林林業振興会青森支部 支部長
青森県立美術館 美術企画課 美術統括監
青森県立郷土館 学芸課 主任学芸主査
平内町漁業協同組合茂浦支所
青森県立青森中央高等学校 教諭
青森県 プロジェクト担当者

渡邊 五大 氏
崎野 健輔 氏
池田 亨 氏
杉野森淳子 氏
竹達 貴広 氏
中西 拓朗 氏

コーディネーター： 白田 祥章 氏（あおり JOMON GYOMO プロジェクトディレクター）

定員： 100名

申込先：



ワークショップ 漁網を再び大地へ「種入り苧麻紙づくり」

植物繊維「苧麻（ちょま）」から撾り合わせ、編み上げた巨大な「縄文漁網」。これを再び植物繊維へと戻し、種子ごと漉き込んだ「手漉紙」へと作り変えます。

開催日時： 令和4年 11月26日（土）、12月3日（土）
12月4日（日）、10日（土）、11日（日）
（午前の部）10:00～12:00 / （午後の部）14:00～16:00

会場： 青森県立美術館 ワークショップ B

定員： 各回 20名程度

申込先：

